

土佐野副組長

昭和八年十一月日本労働組合會議九州地方協議會評議員に推選さる

嶺 主事

昭和八年十一月日本労働組合會議九州地方協議會評議員に推選さる

横大路 茂

昭和八年十月日本労働組合會議第二回年次大會にて評議員に推選さる
昭和八年三月懇談會員に當選す

濱橋文作

昭和八年十月日本労働組合會議第二回年次大會にて評議員に推選さる

島津重藏

(統制委員)
昭和九年三月懇談會員に當選す

丹後甚市

(執行委員)
昭和九年三月懇談會員に當選す

岡本一郎

(執行委員)
昭和九年三月懇談會員に當選す

長野利徳

(執行委員)
昭和九年三月懇談會員に當選す

篠原 運

(執行委員)
昭和九年三月懇談會員に當選す

猪野兼義

(執行委員)
昭和九年三月懇談會員に當選す
昭和九年三月健康保險組合會議員に當選す
同理事に互選さる 昭和

八年十一月日本労働組合會議九州地方協議會評議員に推選さる

原 末吉

(執行委員)
昭和九年三月懇談會員に當選す

菅野靜一

(執行委員)
昭和九年三月健康保險組合會議員に當選す
同理事に互選さる

岡藤三郎

(執行委員)
昭和八年十月日本労働組合會議九州地方協議會評議員に推選さる

谷口友太郎

(執行委員)
昭和九年三月健康保險組合會議員に當選す
同理事に互選さる

内原西雄

(本部書記)
昭和九年三月健康保險組合會議員に當選す
同理事に互選さる

高崎政市

(本部會計)
昭和九年三月懇談會員に當選す

第二製鋼支部長

山田銀次郎

堂山鑄造支部長

宗俊次郎

築港係副支部長

小島高衛

洞岡製銑支部長

太田仙次郎

谷口組織部長

昭和九年三月懇談會員に當選す

幸 情報部長

全參事會員に當選す

渡邊事業部長

昭和九年五月若松市會議員に當選す

四、機關紙の命名

二月五日定例執行委員會、出席者四十名、かくて書記局原案として、「日鐵労働」二、「製鐵労働者」以上奥村案、三、「黒鐵」四、「鐵火」以上猪野案、尙執行委員中より、「火華」、「熱鐵」等の題名が提出され一應全部朗讀の後、順次採決に回ひたるに「鐵火」斷然多く四十名中二十七名の絶對多數に依つて爰に我等が輝かしき闘争の歴史を永劫に記録すべき機關紙は「鐵火」と命名された。烈々炎々と燃ゆる鐵火!

日鐵組合歌

一等當選

猪野兼義

二等

田中兼人

三等

中井保

一、我が組合旗行く處
慘禍渦巻く濁流も
替ゆる苦難の險峻も
正義の前に何かある
我等は強し労働者

五、

あゝ製鐵の労働者
目ざす希望の戦ひに
鐵腕組みし血盟の
戦士の数は二萬人
守りて堅し我が陣地

五、組合歌とマーク



組合歌とマークの懸賞募集は四月十日發行の機關紙に掲載、五月二十日締切の応募總數、組合歌十七點、マーク四十一點、同日の執行委員會にて土佐野、嶺、谷口、菅野、渡仁、篠原、坂本、七名の審査員を任命し二日間に亘つて嚴選に嚴選の上決定す。

- 一 等 猪野兼義
- 二 等 眞鍋一友
- 三 等 田中兼人

二、

捧げし同志の眞心は
鐵火となりて烈々と
見よ戦線に燃へ熾る
搾取、強權、專制を
討！人類の正義戰

六、

黎明近しいさや起て
我が鐵人の意氣昂く
譽ある使命、解放の
戦旗翻して進むなり
戦旗翻して進むなり

三、

憂る資本の惡制や
生産過多に人飢へて
正義は滅し世は亡ぶ
万民共存共榮の
社會を築く組合旗